

医療法人 玉昌会
鰺坂クリニック

医療法人 玉昌会「鰺坂クリニック」

院長挨拶と現状報告

鰺坂クリニック院長 米澤 傑



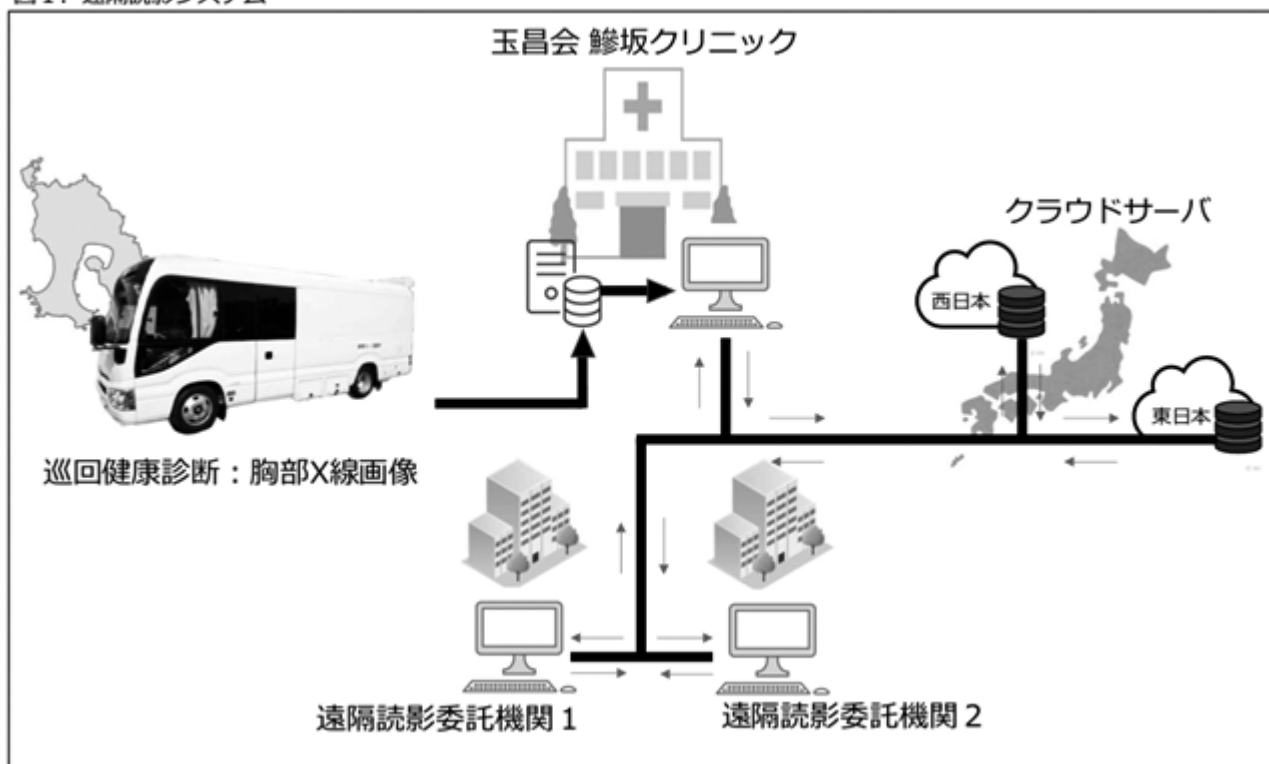
2018年4月に、鰺坂健診クリニックが、医療法人・玉昌会の傘下に入り、鰺坂文昭先生より、院長職を引き継ぎました。私は、鹿児島大学医学部に勤務しながら、昭和53年（1978年）の加治木温泉病院の開院以来、40年以上にわたり、玉昌会にお世話になって参りました。高田理事長先生から、鰺坂クリニックの院長のお話をいただきました際には、まさに「晴天の霹靂」で大変驚きましたが、医学部を卒業した後、すぐに麻酔科で研修をし、麻酔法のみでなく救急蘇生法も身につけ、その後、泌尿器科で外来・病棟で臨床を十分に経験いたしました後、病理学的研究に興味を持って、病理学教室に移籍し、病理学教授に就任いたしました。からも、ずっと、週一回は、加治木温泉病院で臨床に携わっていました私は、臨床に関わることに全く違和感はなく、理事長先生からのお話しを、ありがたくお受けいたしました。

鰺坂クリニック院長に就任いたしましたからの目標は、「正確で丁寧な健診」であり、玉昌会の基本理念の「いつまでも健やかに」に、“健診”という予防医学の観点から、疾患の早期発見と健康増進を通じて貢献することを常に念頭に置き、2018年4月から2019年3月までの1年間に、11,240件の健診を行いました。

院長就任後は、すぐに取り組めることから改革を開始し、健診現場での注意深い胸部聴診により、心電図でも検出できない不整脈や、心雑音をかなりの頻度で診断いたして参りました。平行して「アナログ」であった受診者管理に、ITを導入して、個人識別に関わる検体取り違いの防止と効率向上を目指しています。

胸部レントゲン読影におきましては、これまで、胸部レントゲン写真をUSBに取り込み、画像診断専門医に持参して、画像所見を“手書き”で記載していただいておりますが、ICTシステムを導入し、遠隔読影システムを駆使して、2名の画像診断専門医による「二読」が、正確に効率よく実施されるようになりました（図1）。

図 1. 遠隔読影システム



さらに、これまでは、鰺坂クリニックのみの所見記載システムを使用していましたが、全国共通の「公益社団法人 日本人間ドック協会」の提唱している「胸部エックス線健診判定マニュアル」に準じた所見記載システムを導入し、二次健診における精密検査が必要な対象者に関する胸部レントゲン所見を正確に報告できるようになり、さらには、今後、蓄積されるデータの解析結果を、全国のデータ解析と比較検討することにより、胸部レントゲンの健診結果の適正な評価ができるシステムを構築いたしました。

そのような改善取り組みの結果、健診先の経営者や健康管理者より、「今回の健診からとても丁寧に診ていただけるようになって、職員がとても喜んでいます」、「丁寧な健診で異常所見の早期発見をしていただき、複数の職員が、入院治療をして命拾いをしました」というようなお言葉をいただきました折に、無上の喜びと達成感を感じております。

これまでの鰺坂クリニックでは経験のなかった、5 日間で 871 名の職員健診を行うという「大型健診」も、2 組の健診グループ体制を組むことにより無事に遂行でき、将来の大型健診への対応にも可能なモデルを作り上げることが出来ました(表 1)。今後、「生活習慣病予防健診」といった、より広範囲の全身的レベルでの健診も

表 1. 大規模健診実施状況表(日程、スタッフ人数、受診人数)

日付	スタッフ人数	受診人数
2019/5/13	21 名	171 名
2019/5/14	21 名	216 名
2019/5/15	20 名	196 名
2019/5/16	22 名	162 名
2019/5/17	21 名	126 名

視野に入りたいと考えております。

健診の結果、精密検査が必要と判断された受診者には、「二次健診」の紹介状に加えて（胸部レントゲン所見異常者の場合には、胸部レントゲンの CD を同封して、より効率よく精密検査を受けられるようにしています）、経過観察が必要な例については、精密検査を受けた病院から、検査結果の返信を得られるシステムを作り、精密検査結果のファイリングを行って、健診後の経過観察を行えるようにすると共に、症例蓄積を行って、今後の健診の精度向上に資したいと考えています。

平成 27 年 12 月から開始された「ストレスチェック制度」に関しても、今後、職場ごとの「集団分析」を行い、各々の職場における「ストレス」の状況を可視化して、各職場でのメンタルヘルスの改善に資するとともに、個人レベルでも、高ストレス者が面談を申し出やすい環境を作り、出来るだけ早く「ストレス」から解放され、楽しく職場業務に従事できるように貢献してゆきたいと考えています。

一方、健診の際に、タバコによる健康被害を、具体的データを示して説明し、「禁煙の勧め」を行い、また、肥満体型の具体的補正法の指導を行うという「健康増進」にも取り組んでいます。

また、社会的問題になっております、「風疹抗体価」測定を職場健診時に行い、分かりやすい「抗体検査結果報告書」（表 2）を作成して、抵抗体価者へのワクチン接種の推奨を行っています。

表 2 抗体検査結果報告書

実施検査結果表

検査項目	検査方法	抗体価・判定		免疫の有無
麻疹(はしか)	IgG/EIA	25.5	(+)	十分な免疫あり
風疹(三日はしか)	HI	256倍	(+)	十分な免疫あり
水痘(みずぼうそう)	IgG/EIA			
ムンプス(流行性耳下腺炎)	IgG/EIA			

<ウイルス抗体検査とは>

- ・発症予防に十分な抗体価が無い場合はワクチン接種によって免疫を増強します。
- ・抗体価(+)で十分な免疫を有する場合には、ワクチン接種は不要です。
- ・抗体価(－)・(±)の場合には免疫が無いと考えられ、ワクチン接種が勧められます。

(参考) 判断基準の目安

検査項目	検査方法	十分な免疫なし (基準に満たない)		十分な免疫あり
		(－)	(±)	(+)
麻疹(はしか)	IgG/EIA	2.0 未満	2.0～16.0 未満	16.0 以上
風疹(三日はしか)	HI	8倍未満	8倍、16倍	32倍以上
水痘(みずぼうそう)	IgG/EIA	2.0 未満	2.0～4.0 未満	4.0 以上
ムンプス(流行性耳下腺炎)	IgG/EIA	2.0 未満	2.0～4.0 未満	4.0 以上

鯉坂クリニック

大規模交通関連企業における「運転上健康管理」についての詳細な資料を作成し、それを参考として、交通事故につながりかねない脳・循環器疾患や睡眠時無呼吸症候群等の精密検査を、関連病院の加治木温泉病院で受ける制度が開始され、公共交通機関の安全性向上にも貢献しております。

さらに、私は「産業医」資格も取得し、対象企業の職場巡視実施、安全衛生委員会出席、個人面談実施等を通じて、職場全体の「健康管理」にも取り組んでおります（表3）。

幸い、玉昌会の行動指針である「低償感徴」を、クリニックスタッフ全員が実行しており、スタッフ全員による毎月の「スタッフミーティング」で問題点を掘り起こし、定期的な「運営会議」で、玉昌会本部と問題点の共有をして改善をはかり、微力ながら、“健康な長寿社会”へのさらなる貢献を目指して参りたいと考えております。

表3. 医療法人 玉昌会 鯉坂クリニック：産業医活動一覧（2019年8月時点）

No.	企業名	産業医 選任義務	健診 対象者	予定巡視回数 (12カ月)	ストレス チェック	巡視・衛生委員会等 実施状況
1	(株)九電工鹿児島営業所	義務	319	6	なし	巡視・面談
2	(株)九電工鹿児島支店	義務		6	なし	巡視・面談
3	(株)九電工鹿児島配電工事営業所	義務		6	なし	巡視・面談
4	セイカ食品(株)	義務	410	6	なし	巡視・委員会
5	鹿児島トヨタ自動車(株)	義務	175	6	実施	巡視・委員会
6	SBSゼンツウ(株)	義務	20	6	なし	巡視・委員会
7	ラ・サール学園	義務	155	6	なし	巡視
8	大成ビルサービス	義務	257	6	実施	巡視
9	(株)昭和貨物本店	義務	208	6	実施	巡視
10	(株)昭和貨物大塚営業所	義務		6	実施	巡視
11	(株)ミートセンターかごしま	義務	62	6	実施	巡視
12	指宿海上ホテル	義務	35	6	実施	巡視
13	(株)南国リゾート	義務	39	6	なし	巡視
14	伊田食品(株)給食センター	義務	226	6	実施	巡視
15	(株)南九州電設	義務	64	6	実施	巡視
16	藤絹(株)	義務	73	6	実施	巡視

医療法人 玉昌会
在宅サービス事業部

2018 年度 医療法人玉昌会 在宅サービス事業部

《経営理念》

「いつまでも健やかに・・・

ー私たちの願いです。」

「貴方らしく暮らすために・・・私たちは地域に貢献します。」

《経営目標》

私たち医療法人玉昌会は、

地域の医療・介護及び福祉のシームレスな連携を構築します。

地域の皆様の安心・安全・健康に貢献します。

「活き活き」暮らす環境を提供します。

在宅サービス事業部の概要

在宅サービス事業部の概要

名 称 医療法人玉昌会 在宅サービス事業部
開設者 高田 昌実

◇◇◇ 鹿児島地区 ◇◇◇ 鹿児島地区担当理事 萩原 隆二

ヘルパーステーション甲東
鹿児島市新町 5 番 19 号 Tel099-219-2670 1998 年 5 月開設

居宅介護支援事業所甲東
鹿児島市新町 5 番 19 号 Tel099-239-3112 1999 年 10 月開設

通所介護事業所（デイサービス） しあわせの杜・ケアレジデンス風の街
鹿児島市堀江町 6-3 Tel099-248-8112 2011 年 5 月開設

看護小規模多機能型居宅介護 しあわせの杜・ケアレジデンス星の街
鹿児島市堀江町 6-3 Tel099-248-8136 2011 年 5 月開設

住宅型有料老人ホーム しあわせの杜・ケアレジデンスほりえ
鹿児島市堀江町 6-3 Tel099-248-8111 2011 年 5 月開設

訪問看護ステーションまむ鹿児島
鹿児島市堀江町 6-3 Tel099-248-8450 2012 年 7 月開設

◇◇◇ 始良地区 ◇◇◇ 始良地区担当理事 高田 昌実

居宅介護支援事業所 めく杜
始良市加治木町反土 2156-5 Tel0995-62-0106 1999 年 10 月開設

訪問看護ステーション まむ
始良市加治木町反土 2156-5 Tel0995-63-8881 2008 年 3 月開設

通所介護事業所しあわせ通りらぶ
始良市加治木町反土 2156-5 Tel0995-62-5950 2016 年 4 月開設

認知症対応型共同生活介護（グループホーム） しあわせの杜・ケアレジデンス木もれ日
始良市加治木町反土 2156-1 Tel0995-62-5915 2009 年 4 月開設

認知症対応型共同生活介護（グループホーム） 「いこいの里」花いちもんめ
始良市加治木町木田 4888-4 Tel0995-62-2983 2016 年 4 月開設

小規模多機能型居宅介護 しあわせの杜・ケアレジデンス とまり木
始良市加治木町反土 2156-1 Tel0995-62-5916 2010 年 4 月開設

小規模多機能型居宅介護 しあわせの杜・ケアレジデンス お福
始良市西餅田 202-3 Tel0995-65-1234 2010 年 4 月開設

住宅型有料老人ホーム しあわせの杜・ケアレジデンス おはな
始良市加治木町反土 2156-5 Tel0995-63-8889 2010 年 5 月開設

住宅型有料老人ホーム しあわせの杜・ケアレジデンス おはな別館
始良市西餅田 202-3 Tel0995-65-2040 2011 年 6 月開設

在宅サービス事業部 部門別活動報告

部門別活動のご紹介にあたって（玉昌会のBSC活動）

医療法人玉昌会では、Balanced Score Card（以下BSCという）を活用した部門別活動を展開しています。

※BSC（Balanced Score Card）＝組織のビジョンや戦略を4つの視点から具体的な目標や行動計画に視覚化し、実践し評価するための手法。

医療法人玉昌会のBSC運用スケジュール

2月：新年度の基本方針（法人・各地区・両院）発表
（合同スタッフ会議にて）



3月：前記方針に基づいた部門基本方針の立案



3月：具体的部署目標の設定並びに目標を達成するための具体的な施策内容と実施スケジュールの立案



4月：BSC事務局によるヒアリング、提出（PLAN）



4月～3月：施策の実施（DO）



9月、3月：結果とその評価（CHECK）



9月：BSCの修正（ACTION）



BSCの立案においては次の4つの視点区分がポイントとなります。

- A. 患者満足の視点
- B. 健全経営の視点
- C. 医療の質向上の視点
- D. 学習と成長の視点

この4つの視点区分にもとづいて、各部署で立案されたものです。

ケアレジデンスおはな（住宅型有料老人ホーム）

【今年度の取り組み】

- A-1. 身だしなみ規定の遵守
達成目標：違反者ゼロ
- A-2. 利用者の満足度向上
達成目標：不満に対する協議・検討をし、業務改善事例を1件以上達成する
- B-1. 事業所の健全経営
達成目標：入居者平均40.6名、稼働率96.6%
- C-1. リスクマネジメントの強化
達成目標：事業所ミーティングにてインシデント・アクシデント報告、車両事故等の検討会を実施。
- D-1. 職員が自主的に学ぶ風土づくり
達成目標：在宅部門研修会参加率80%以上、その他研修（法人内・外部）を6回以上参加

【今年度を振り返って】

入居に関しては、看護師との連携を図り、医療的管理を強化し、入居年数は伸びてきています。しかし、入居年数が伸びる事で、高齢化も伴い、急激な入院・退去へ繋がり、稼働目標を達成できませんでした。相談件数は年々増えてきており、口コミでの相談の方が増加してきています。ご利用者様の満足の維持・向上を図るためにも、介護サービスの質の向上、リスク管理の徹底、さまざまな研修会を通してよりよいサービスを提供できるように努めていきます。

ケアレジデンスおはな別館（住宅型有料老人ホーム）

【今年度の取り組み】

- A-1. 利用者様の満足度向上
達成目標：事業所で年間計画に基づく満足度調査の実施、集計、集計結果公表
- B-1. おはな別館の健全運営
達成目標：19.5名入居、97.5%
- C-1. リスクマネージメントの強化
達成目標：ミーティングでインシデント・アクシデント報告・事故報告・車両事故報告の検討会を実施する（毎月）年間の報告件数を集約・分析し結果を全事業所に報告。
- C-1. 法令遵守に基づくサービスの提供
達成目標：年度内にて自己点検を実施し、上司へ報告を行う。
- D-1. 業務に関する基礎知識の習得 学習意欲の向上
達成目標：事業所内での年間研修計画に基づく勉強会の実施

【今年度を振り返って】

今年度の稼働率については、年間を通して退居者4名と少なく、体調管理や医療機関との連携を図ることで目標達成となった。また、待機者・見学者も増加している。今後も、入居者様の多様なニーズにお応えし安心して過ごすことのできる生活の場を提供できるようスタッフ一同業務に取り組んでいきたいと思っています。

ケアレジデンスほりえ（住宅型有料老人ホーム）

【今年度の取り組み】

- A-1. 満足度調査実施と満足度率向上
達成目標：満足度調査項目検討と調査実施。満足度率85%以上
- A-2. 利用者の目線での対応
達成目標：入所者からの苦情発生2件以内

B-1. 在宅部門・各事業所の健全経営

達成目標：予算書に基づく事業運営年平均値＝入居者数26.5名

C-1. リスクマネジメントの強化

達成目標：リスク事例に対してのカンファレンスを毎月実施、取り組み→改善策を書面で残していく

C-2. 法令遵守に基づくサービスの提供

達成目標：実地指導を見据え、事業所自己評価を行い、法令遵守を徹底する。

D-1. 業務に関する基礎知識の習得

達成目標：事業所内勉強会の年間計画と策定と毎月実施。

【今年度を振り返って】

今年度は年間26.1床にて推移し、目標である26.5床を達成できなかった。待機者は平均7名前後いらしたが、急いで入居をしたいと考えられている待機者が少なく、退去者発生後新規入居者を受け入れるまでに1か月程かかってしまった。来年度はすぐに入居できる待機者を抱えながら運営をし、満床維持をしていく。平成31年1月末に入居者様が数名インフルエンザA型を発症し、面会制限、個室隔離が必要な状況となってしまう、入居者様、ご家族に多大なご迷惑をお掛けしてしまった。感染予防は行っていたものの、面会制限等の対策は不十分であり、発生後の対策の遅れもあった。来年度、早め早めの対策を行い、発生者ゼロを目指す。

ヘルパーステーション 甲東

【今年度の取り組み】

A-1. 利用者様の満足度向上

達成目標：満足度調査の実施・公表（苦情相談5件以下）

B-1. 事業所の健全経営

達成目標：未達成。一日訪問件数14件（延べ5110件）

C-1. リスクマネジメントの強化

達成目標：インシデント・アクシデント・ヒアリハット等の発生を10件以下にする。

D-1. 法令遵守に基づくサービスの提供

達成目標：各書類整理・整頓及び、提出物に関して不備の確認。（自己監査）

D-2. 業務に関する基礎知識の習得

達成目標：在宅部門勉強会参加率 平均60%

【今年度を振り返って】

新規外部利用者様獲得の継続に加え、有料ほりえ内

入居者様のヘルパー業務の増加、新規自費ヘルパー利用者様の定期的な利用の継続より、前年度と比較すると、訪問件数の増加へと繋がっている。アクシデント、インシデントに対しては、職員会議でのカンファレンス及び、対策案を考慮することで、職員間での意識に変化、業務・利用者様に対して「気付き」の視点が多く見られるようになった。今後は、支援内容・ケアに対しての質の向上、訪問時間に関する柔軟な対応をしていくと共に、新規利用者様獲得の増加を目指していく。

居宅介護支援事業所 甲東

【今年度の取り組み】

A-1. 利用者様に信頼されるケアマネジャー

達成目標：利用者様からの不満による担当変更、事業所離れを未然に防ぐ。年間0件

B-1. 事業所の健全経営

達成目標：ケアマネ一人ひとりが、利用者数と財務状況に意識を持ち、1ケアマネあたり実績請求数28件／月を目指す。特定事業所加算Ⅱの維持

在宅サービス事業部 部門別活動報告

C-1. ケアマネジメントプロセスの遵守

達成目標：事例検討会8例、定期開催し、他ケアマネのプロセスの学びや自身のケアマネジメント力を見直す機会とし、質を高める。

D-1. 業務に関する知識・最新情報の取得

達成目標：在宅勉強会への出席率8割、外部研修へ1ケアマネ2回は出席し学習を深める。

【今年度を振り返って】

主任ケアマネ1名入職に伴い、主任ケアマネ2名体制となり、中重度利用者40%以上の要件も達していることから、特定事業所加算ⅡからⅠへの変更申請を行った。また、他居宅の休止に伴い利用者とともに経験のあるケアマネ1名入職された。以上2点により、利用者数増、収入増につながった。しかし、常勤4名体制から6名体制となったが、受け持ち数のばらつきや、全員が目標数に達するまでには至っていない。

全員が3年以上のケアマネ経験を有した居宅事業所として、どのような相談にも迅速かつ的確に対応しているよう、さらなる質の向上を目指していきます。

居宅介護支援事業所 めく杜

【今年度の取り組み】

A-1. 利用者様の満足度向上

達成目標：満足度調査を8月までに実施し10月までに公表。

業務改善事例を1事例

B-1. 事業所の健全経営

達成目標：月新規獲得7件、介護138件、予防17件。集中減算にならないように取り組む。特定事業所加算（Ⅱ）の算定が継続できる。

C-1. リスクマネジメントの強化

達成目標：インシデント報告と早期改善を図る。リスクマネジメント研修会参加50%以上

C-2. 法令遵守に基づくサービスの提供

達成目標：居宅スタッフ間での書類確認。内部監査指摘事項ゼロ。自己点検評価の実施

D-1. 基礎知識の習得、学習意欲の向上

達成目標：研修計画に基づき研修参加率80%、職員間の理解度80%。

【今年度を振り返って】

2018年は医療・介護のダブル改定となったが、開始前から勉強会への参加など対策を行ってきたため、大きなトラブルなく対応ができています。人員不足の中、新規対応や困難事例への支援などスムーズに業務を遂行している。また、それぞれが研修会への参加を行い個々のスキルアップに取り組んでいる。今年度から管理者が始良伊佐ケアマネ協議会の理事として地域でも活躍できる場面もある。また、今年度から他事業所との勉強会も開催し、ケアマネの資質向上に向けて共にレベルアップに励んでいる。今後は人員不足を解消しさらに新規利用者獲得、困難事例への対応、地域との連携・ネットワーク作り、資質向上に取り組んでいきたい。

ケアレジデンスお福（小規模多機能ホーム）

【今年度の取り組み】

A-1. 利用者様の満足度向上①

達成目標：満足度調査を実施し、調査結果を運営推進会議や利用者ご家族へ公表する。

A-2. 利用者様の満足度向上②

達成目標：サービスの質の向上や業務改善について検討し、改善事例があれば実施し評価を行う。

B-1. 既存事業所の健全経営

達成目標：登録平均を27.5名。

C-1. リスクマネジメントの強化

達成目標：毎月の定例ミーティングでインシデント・アクシデント報告・事故報告・車輻事故報告を行い、対応策を検討する。また、年間の報告件数を集約・分析し、結果を全事業所に報告する。

D-1. 法令遵守に基づくサービスの提供

達成目標：自己点検票にて自己点検（評価）を実施する。

E-1. 業務に関する基礎知識の習得

達成目標：事業所内で研修計画を作成し、研修テーマや講師担当などを取り決め実施する。

【今年度を振り返って】

今年度は、目標登録平均者数27.5名に対し、年間登録平均者数実績25.1名と目標値を2.4名下回る結果でした。次年度は、医療機関や居宅介護支援事業所、地域包括支援センターなど周囲の関連事業所との連携を図り、迅速な対応に努めたいと思います。

また、利用者様が住み慣れた地域で安心・安全な生活を送ることが出来るよう地域内でサポートし合いながら、本人らしい暮らしの実現に向けて支援していきます。

ケアレジデンスとまり木（小規模多機能ホーム）

【今年度の取り組み】

A-1. 利用者様の満足度向上

達成目標：年間計画に基づく満足度調査の実施、集計、集計結果公表

業務改善事例があれば、実施し評価を行う。

B-1. 既存事業所の健全運営

達成目標：登録実稼働26.1名、平均介護度2.1以上を維持。

C-1. リスクマネジメントの強化

達成目標：毎月のミーティングでインシデント・アクシデント報告、事故報告、車両事故報告、検討会を実施する（毎月）

毎月の在宅介護で件数と事例を報告する。年間の報告件数を集約・分析し結果を事業所職員に報告する。

D-1. 法令順守に基づくサービスの提供

達成目標：事業所で自己点検表にて評価を行い年度内にて事業所で実施報告を行う。

E-1. 業務に関する基礎知識の習得

達成目標：事業所内で研修計画を作成し実施する。研修内容やテーマ、講師担当を決め実施する。事業所内ミーティング等で勉強会の実施。身体拘束に向けた研修を取り入れる。

【今年度を振り返って】

地域活動において、サロンサポーターと連携を図り、ようやくサロンの立ち上げを実現することができました。

事業運営については、施設としての体力が付き医療依存度の高いご利用者様の受け入れが多く出来ました。

職員の評価も良く、仕事を楽しむ姿が多くみられます。本年度は、目標をさらに高く、看護小規模へと施設を変換し、職員一同邁進していきたいと思います。

来年度以降も地域を基盤とした包括的支援体制を構築していきます。

ケアレジデンス星の街（看護小規模多機能型居宅介護）

【今年度の取り組み】

A-1. 利用者様の満足度向上

達成目標：満足度調査を実施。集計結果を公表。

B-1. 健全経営

在宅サービス事業部 部門別活動報告

達成目標：平均稼働人数25名以上

C-1. リスクマネジメントの強化

達成目標：インシデント・アクシデント合わせて1件以内

D-1. 業務に関する基礎知識の習得、学習意欲の向上

達成目標：症例カンファレンスを毎月実施

【今年度を振り返って】

経営面に関して、平均稼働人数を達成することが出来なかったが、中重度の利用者受け入れを積極的に行ったこと、新たな加算（看護体制加算Ⅱ、訪問強化加算）算定により、大幅に単価を上昇させることができた。

平成31年2月に鹿児島市指導監査課による実地指導を受け、概ね健全に運営できていると判断していただく。今年度は、職員の質向上に努めており、今まで課題であった内部研修への参加、外部研修への参加を促し、内部研修に関しては、参加できなかった職員に対し動画での視聴を行い、業務により参加できなかった職員も学べる環境となった。外部研修には、複数名で声を掛け合い、参加を促すことで、参加率が上昇している。次年度は、引き続き、事業所の質向上に努めると共に、安定した稼働が維持できるように取り組む。

訪問看護ステーション まむ

【今年度の取り組み】

A-1. 利用者様の満足度向上

達成目標：満足度調査結果を集計し、改善内容を利用者様に公表
評価項目「良い」80%以上・業務改善事例1件以上

B-1. 既存事業所の健全経営

達成目標：訪問延べ回数医療120回介護240回

C-1. リスクマネジメントの強化

達成目標：インシデント・アクシデント報告0件

C-2. 法令順守に基づくサービスの提供

達成目標：実地指導による改善指摘事項、返還金ゼロ

D-1. 業務に関する基礎知識の習得・学習意欲の向上

達成目標：事業所内で研修を実施する

【今年度を振り返って】

今年度より日曜日の事業所営業を開始しました。終末期の利用者様への訪問が円滑に行え、また、利用者様・ご家族様もいつでも訪問してくれる体制に、安心しますとのお声も頂いております。

訪問看護からのセラピストによるリハビリ訪問利用者様も増加しています。看護師の医療的な側面からと、セラピストによるリハビリに特化した訪問で、利用者様・ご家族様からの口コミで、利用したい本人様から直接相談や利用希望の連絡も増えてきております。

今後も利用者様のニーズに応えられるよう、スタッフの教育を継続し、訪問看護利用者の拡大に繋げていきます。また、始良市における医療ニーズに特化した訪問看護ステーションの位置づけを確立できるよう取り組んでいきます。

訪問看護ステーション まむ 鹿児島

【今年度の取り組み】

A-1. 利用者様の満足度の把握と向上

達成目標：1回/年、満足度調査の実施、集計、結果公表。アンケートの結果を反映した業務改善案の設定。

B-1. 訪問看護利用者数の向上、稼働率の維持向上

達成目標：訪問延回数上半期9月416回、下半期3月548回

C-1. 報告の徹底

達成目標：報告もれなし。起こったリスクについて、改善がなされている対策検討会の実施。

D-1. 勉強会及び、カンファレンスの質の向上

達成目標：部署内勉強会の項目に、事例検討会を1回追加して行う

【今年度を振り返って】

本年度は、訪問看護ステーションからの訪問リハビリを開始した。また、退院直後からの在宅支援の為に医療介入の増加と要請があり、訪問件数は増加してきているが、目標達成には至らなかった。今後、目標達成に向け、日々の業務改善と、スケジュールの見直し、外部利用者獲得の為に定期的な広報活動を実施してゆく。また、突発的な依頼へのスムーズな対応、夜間緊急時の対応、在宅での看取り、腹膜透析の利用者様等への対応等、より幅広いニーズに応えられるように、今後も継続し、外部研修にも積極的に参加、着実に知識、技術を高めていく。また、働きやすい職場環境を目指し、スタッフの安定した定着と増員、利用者獲得に努めてゆく。

今後は、隙間時間の有効活用と広報活動の実施、残業時間の短縮を図り、確実な実績増加に繋げていきたいと考える。また、今年度の満足度調査の結果を大切にし、選ばれるステーションとなるよう研修参加率向上を図り、スキルアップに繋げていきたいと考える。今後も、ご利用者様、ご家族様がより安心して在宅での生活が送れるように、寄り添い、スタッフ全員協力体制で引き続き取り組んでいきたい。

ケアレジデンス 木もれ日（グループホーム）

【今年度の取り組み】

A-1. 利用者様の満足度調査実施

達成目標：上半期・下半期2回、満足度調査を実施し、集計結果を家族へ配布。満足度良いに対し、90%以上を確保する。

B-1. 既存事業所の健全経営

達成目標：稼働率94.44%、一日平均8.5名以上利用、平均介護度3.3以上。

C-1. リスクマネジメントの強化

達成目標：事業所ミーティングでインシデント、アクシデント報告、車両事故報告の検討会を実施し、毎月の在宅会議で件数と事例の報告をする。年間件数を集約・分析し結果を職員へ報告する。事故報告書0件を目標とする。

D-1. 業務に関する基礎知識の習得①

達成目標：事業所内で研修計画を作成し実施する。研修内容やテーマ、講師担当を決め実施する。事業所内ミーティング等での勉強会の実施。身体拘束廃止に向けた研修を取り入れる。

【今年度を振り返って】

今年度、管理者の変更や職員の配置転換などで大きく環境が変わり、ご利用者様やご家族様にはご迷惑をおかけしましたが、チームワークを再構築し更に良い施設を目指します。また、入浴リフトの検討を行い職員の介護負担軽減を図り、ご利用者様の満足度向上を目指します。今後も他協力機関やご家族様と連携し、利用者様一人ひとりに寄り添った、良質なケアを目指していきます。

いこいの里 花いちもんめ（グループホーム）

【今年度の取り組み】

A-1. 利用者様の満足度調査実施

達成目標：上半期・下半期2回、満足度調査を実施し、集計結果を家族へ配布。満足度良いに対し、90%以上を確保する。

B-1. 既存事業所の健全経営

達成目標：稼働率94.44%、一日平均8.5名以上利用、年間空床66床以下、平均介護度3.3以上。

C-1. リスクマネジメントの強化

在宅サービス事業部 部門別活動報告

達成目標：毎月の定例ミーティングでインシデント・アクシデント報告・事故報告・車輛事故報告・検討会を実施する。毎月の在宅会議で件数と事例を報告する。年間の報告件数を集約・分析し結果を全事業所に報告する。

D-1. 法令遵守に基づくサービスの提供

達成目標：事業所で自己点検票にて自己点検（評価）を実施、上司に報告を行う。記録などに不備がないように定期的に見直しを行う。

E-1. 業務に関する基礎知識の習得、学習意欲の向上

達成目標：在宅部門および院内研修会 8 回参加。外部研修会 2 は回以上参加。職員の研修参加状況の把握し、全員が目標回数を上回るよう声かけ・案内を強化する。

【今年度を振り返って】

入居に関しては上期に入院が重なり、空床が多く目標を下回ったが、下期には稼働率 99.46% とほぼ満床の状態が続き、安定した経営が行えた。またリスクマネジメントの強化ではインシデント・アクシデントの発生が少なく安全な介護・運営を意識して行えた。入居者様の平均介護度が高く、車椅子移動が 6 名程度と重度化していますが、最高齢 100 歳を越える方もおられ、温かみのある家庭的な住環境で家族と職員が利用者様に寄り添い、穏やかな本人らしい暮らしの実現に向けて、日々協力関係を築きながら共同生活が送れるよう支援していきます。

ケアレジデンス 風の街（ディサービス）

【今年度の取り組み】

A-1. 利用者が楽しめるイベントの実施

達成目標：年間計画イベントの実施。地域イベント等の非定例イベントを毎月実施。

達成目標：10 月に満足度調査を実施し、12 月に公表を行う。

B-1. 事業所の健全運営

達成目標：1 日平均利用者数 17 名

B-2. 新規利用者の獲得

達成目標：外部居宅広報にて新規利用者を毎月 1 名以上獲得する。

C-1. リスクマネジメントの強化

達成目標：インシデントを出さない。発生した際は早期に検討会を行い再発防止に努める。

D-1. 業務に関する基礎知識の習得・向上と自己啓発意識の向上

達成目標：在宅部門・高田病院勉強会参加率 70%

【今年度を振り返って】

今年度は入院・施設入所の方が相次ぎ、広報活動においても計画的な活動が出来ていなかったこともあり、新規利用者が伸びず、1 日平均目標利用者数を大幅に下回った。

利用者様の満足度においては、毎年恒例イベントに加え、地域行事への参加やボランティア受入れによる余興などが好評で満足していただけた。冬場に関しては、インフルエンザが蔓延し休止せざるえない状況になってしまったため、来年度は利用者様の体調管理の徹底、更には A D L の維持・向上に努めていきたいと考える。

しあわせ通り らぶ（ディサービス）

【今年度の取り組み】

A-1. 利用者様の満足度向上

達成目標：利用者さまへの対応改善

B-1. 事業所の健全経営

達成目標：延べ回数平均 1040 名

1 日利用平均 40 名

C-1. インシデント・車両事故報告の削減

達成目標：インシデント 10件 アクシデント 2件 車両事故報告 0件。

事業所内でリスク事例検討会の実施。

C-2. 法令遵守体制を整える

達成目標：自己点検（評価）を実施する。

D-1. 院内・院外研修への参加率の向上

達成目標：年間研修計画に基づく勉強会の実施。

【今年度を振り返って】

年間を通じて目標に対して延べ回数実績が92%、1日平均34.1名の実績でした。上半期中重度の方の入院や中止が続き、一部加算取得が困難な状況になり減収となりました。また31年4月より始良市における総合事業も始まり、基準緩和型へ移行される利用者の方も数名おられ厳しい状況を迎えようとしております。今後も複合施設としての地域での役割や機能を担いサービスの質の向上に努めて参りたいと思います。

在宅サービス事業部内研修

在宅サービス事業部内でも各事業所において、独自の取り組みや研究を行っており、年に一度、両地区にて研究発表会を開催しています。

【第6回始良地区研究発表会】

○実施日：2018年12月7日（金）

○会場：加治木温泉病院 1階食堂談話室

＜演題＞

- ① ストレス軽減を試みる～ストレスを感じていたことを知る～
通所介護事業所しあわせ通りらぶ 米蔵
- ② 認知症ケアと環境の力・改善 ～訪問から通いへとよりよい支援方法の追求～
ケアレジデンス お福 湯徳
- ③ 在宅看取りについて～ケアマネジャーの役割～
居宅介護支援事業所 めく杜 松田
- ④ 口腔ケアの意識向上を目指して ～職員のアンケート調査から～
いこいの里 花いちもんめ 小倉
- ⑤ 転倒予防に繋がる介護職のアプローチ ～介護予防に向けた取り組み～
ケアレジデンス とまり木 肥田

【第5回鹿児島地区研究発表会】

○実施日：2018年12月14日（金）

○開催場所：ケアレジデンスほりえ1階風の街

＜演題＞

- ① ケアマネジメントの質を高めるためのICTの活用
居宅介護支援事業所 甲東 泉
- ② 認知症状進行に対するアプローチ
ケアレジデンス 風の街 田之上
- ③ 身体症状の訴えが多い利用者への支援
訪問看護ステーション まむ鹿児島 下鶴
- ④ 主観的疼痛へのアプローチ
ケアレジデンス 星の街 二村
- ⑤ 服薬ミスゼロを目指しての取り組み
ヘルパーステーション 甲東 渡

今回で始良地区が6回目、鹿児島地区が5回目の在宅研究発表会を開催致しました。昨年と比較し、各事業所の取り組みの質も向上してきております。

鹿児島地区では、業務改善研究が2例、症状や訴えに対してのアプローチが3例あり、それぞれ試行錯誤しながら取り組まれていました。認知症や痛みの訴えなど様々な事業所でも共通して見られる事ですので、参加者は、皆真剣に聞き入っていました。

【在宅サービス事業部勉強会】

事業部内の勉強会も月1回のペースで開催。今期は以下のテーマで開催しました。

○主催：在宅サービス事業部教育委員会

○実施日：毎月1回、定例的に実施

○対象：在宅サービス事業部の職員

【鹿児島地区】

開催月	テーマ
4月	研究発表への取り組み方について
5月	実地指導について
6月	医療・介護人としての倫理（高齢者の尊厳、身体拘束、虐待防止等）不適切ケアをなくすためにはについて
7月	緊急時対応（地震・津波対策）
8月	認知症について
9月	リハビリテーションについて
10月	感染対策・予防について
11月	訪問介護事業所の役割について
12月	研究発表会への参加
1月	介護保険制度について
2月	看取りについて
3月	リスクマネジメントについて

【始良地区】

開催月	テーマ
4月	研究発表への取り組み方
5月	腹膜透析について
6月	介護人としての倫理（高齢者の尊厳、身体拘束、虐待防止等）不適切ケアをなくすためには
7月	緊急時の対応（心臓マッサージ、AEDの使用方法について）
8月	介護職のストレスマネジメントについて
9月	リハビリについて（高齢者の介護技術、腰痛体操等）
10月	感染対策について
11月	通所介護事業所について
12月	在宅研究発表会への参加（始良地区、鹿児島地区）
1月	認知症について
2月	リスクマネジメントについて
3月	看取りについて

【3施設で音声収集に協力】

星の街、とまり木、お福の3施設にて、「重介護ゼロ社会を実現する 革新的サイバニックシステム実現を目的とした 音声データ収集」という国家プロジェクトの一部に協力させていただきました。



【在宅サービス事業部 ICT 化】

システム使用での電子記録を開始しました。写真等の活用で利用者記録は見やすくなり、記録時間の短縮につながり、書類作成等にあてる時間を取りやすくなりました。



【ビデオ通話で国際交流】

日本のシニアと海外の日本語学習者が日本語でビデオ通話を行う「Sail サービス」を試行開始。

豊富な経験や知識を交え、日本語の学習や文化等を学び楽しむ日本語教育サービスを実施しております。



【よかよか体操】

ケアレジデンスほりえにて、よかよか体操を実施させていただくことになりました。堀江地区、名山地区の方々にお声かけをさせていただき、地域の交流の場となっています。



【おはら祭】

ほりえ入居者さま・利用者さまと「おはら祭り」に出かけました。曲に合わせて手を動かしたり、踊られている方が入居者さまとの写真と一緒にいていただく場面もあり、思い出に残るおはら祭りとなりました。

